

平成25年1月11日

社団法人岐阜県畜産協会

新マルキン事業の平成24年度11月分の肥育牛補填金単価について

平素は当協会の事業に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、平成25年1月8日に(独)農畜産業振興機構より11月分の肥育牛補填金単価が公表されましたが、岐阜県では乳用種において財源が不足していることから、実施要綱第5の6の(10)のアの(イ)の規定に基づき下記のとおり減額いたします。

記

1 減額後の補填金単価

乳用種 : 70,900円 → **33,300円**

なお、肉専用種、交雑種においては変更ありません。

連絡先

価格安定部

担当：梅園、古田

電話：058-278-2420

平成25年1月8日  
独立行政法人農畜産業振興機構

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）の  
平成24年11月分の肥育牛補填金単価について

当機構では、牛肉・稲わらからの暫定規制値等を超えるセシウム検出に関する緊急対応策のうち肥育経営の支援対策（特例措置）として、肉用牛肥育経営安定特別対策事業の平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。

平成24年11月に販売された交付対象の契約肥育牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱第5の6の(10)のアの(ア)の肥育牛補填金の単価については、下記のとおりです。

記

肉専用種	交雑種	乳用種
8,400円	91,200円	<del>70,900円</del>

注：補填金交付額に見合う財源が不足する場合、上記補填金単価を減額することがあります。

○ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（抜粋）  
第5の6の(10)のアの(イ)

県団体は、肥育安定基金の全額を取り崩してもなお支払うべき肥育牛補填金の額に不足が生じる場合は、理事長の承認を受けて、補填金単価を減額することができるものとする。

連絡先

畜産経営対策部 肉用牛肥育経営課

担当：坂西、青木

電話：03-3583-8623

(参考1)

肥育牛補填金の単価の算定について

【平成24年11月】

単位：円／頭

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種
平均粗収益 (A)	893,399	529,317	290,986
平均生産費 (B)	903,982	643,426	379,640
差額 (C)=(A)-(B)	△ 10,583	△ 114,109	△ 88,654
補填金単価 (C) × 0.8	8,400	91,200	<del>70,900</del>

注：100円未満切り捨て

(参考2)

## 平均粗収益等の算定基礎

【平成24年11月】

(単位:円/頭)

区 分	平均粗収益及び平均生産費		
	肉専用種	交雑種	乳用種
平均粗収益 (A) = ① + ②	893,399	529,317	290,986
副産物価格 ①	10,949	7,145	5,454
主産物価格 ② = a × b	882,450	522,172	285,532
平均枝肉価格(円/kg) a	1,850	1,097	646
平均枝肉重量(kg) b	477	476	442
生産費総額 ③	916,098	657,207	387,128
もと畜費	456,152	264,345	87,427
飼料費	288,173	281,792	225,141
うち流通飼料	285,359	280,867	223,739
うち牧草放牧	2,814	925	1,402
敷料費	13,356	8,792	8,188
光熱水料及び動力費	10,976	8,271	6,603
その他の諸材料費	366	462	547
獣医師料及び医薬品費	8,148	5,107	3,162
賃貸料及び料金	4,294	1,742	2,756
物件税及び公課諸負担	5,331	2,631	2,107
建物費	14,468	14,019	9,088
自動車費及び農機具費	15,431	9,956	7,277
生産管理費	1,774	912	473
飼養労働費	74,130	41,759	25,034
うち家族労働費	69,275	38,270	22,565
費用合計	892,599	639,788	377,803
支払利子	10,970	3,427	1,749
支払地代	413	211	88
自己資本利子 ④	9,686	12,365	6,245
自作地地代 ⑤	2,430	1,416	1,243
平均生産費 (B) = ③ - ④ - ⑤	903,982	643,426	379,640
差額 (C) = (A) - (B)	△ 10,583	△ 114,109	△ 88,654

注:主産物価格は、28市場及び相対取引等の平均である。

(参考3)

主産物価格の内訳  
【平成24年11月】

品種区分	枝肉取引区分	平均枝肉価格 (円/kg)	平均枝肉重量 (kg/頭)
肉専用種	28市場	1,867	483
	相対取引等	1,831	471
	計	1,850	477
交雑種	28市場	1,100	477
	相対取引等	1,087	473
	計	1,097	476
乳用種	28市場	633	462
	相対取引等	652	435
	計	646	442

注1 28市場とは、中央卸売市場10市場と指定市場18市場での取引である。

注2 それぞれの品種区分の相対取引等とは、次の道県における食肉センター等での取引である。

【肉専用種】

北海道、岩手県、秋田県、山形県、福島県、新潟県、岐阜県、滋賀県、奈良県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

\* 熊本県、宮崎県及び鹿児島県での取引については、以下により公表されている。

(公社) 熊本県畜産協会

(公社) 宮崎県畜産協会

(社) 鹿児島県畜産協会

【交雑種】

北海道、岩手県、秋田県、山形県、福島県、千葉県、新潟県、滋賀県、奈良県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県

【乳用種】

北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、千葉県、新潟県、滋賀県、奈良県、鳥取県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県